

東南大学（中国）

国際文化交流学部 国際文化交流学科 小林美月

留学期間：2023年3月9日～2024年1月27日

初めての海外、初めての留学。私はその場所に中国を選びました。中国に着いて間もない頃は、中国語も思うように話せず、周りに頼れる友達も少なく、何度も心が折れました。ですが今改めて留学生生活を振り返り、中国留学という決断をして本当に良かったと思っています。

交換留学で滞在する四牌楼キャンパスは南京の中心部にあり、歴史と自然と現代生活が融合した街で、とても快適に生活を送ることができました。放課後はキャンパスの中にある図書館で勉強をしたり、地下鉄に乗って遊びに出かけたりと、学校生活だけでなく買い物や遊びに行くのにもとても便利でした。

中国語の授業では、听力、口语、阅读、写作、文化の5科目が週にそれぞれ2回ずつあり、月曜日から金曜日までは大体毎日2コマずつ授業がありました。先生方は主に中国語を使い熱心に授業をしてくれます。授業に参加し始めたばかりの頃の私は先生の指示も聞き取れず、ついていくのがやっとでした。しかしクラスメートの助けや、先生の個人的な指導のおかげでだんだんと語学力を伸ばすことができました。クラスは初級・中級・上級があり、一クラス20人前後の生徒がいます。クラスではベラルーシやベトナムをはじめとした様々な国の人たちと関わることができました。彼らとの交流を通し様々な文化や価値観を知ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができましたと思っています。



後期からは大学のオーケストラサークルにも参加しました。入ったばかりの頃は言語面の問題から指揮者の指導についていけず、わかっているふりをしてしまったこともありました。ですが、サークルの仲間の支えもあり、徐々に言葉を理解し、指導や演奏を楽しめる

ようになりました。中国の学生と関わる機会が授業内では無かったので、このサークルは私にとってとても貴重な交流の機会となっていました。オーケストラを通して出会えた人たちは私にとってかけがえのない存在で、サークルのことだけでなく、自分の悩みを相談しあったり、腹を割ってお互いの国のことについて話したりと、濃い時間を過ごすことができました。



中国で過ごした10か月間は楽しいことばかりではありませんでした。ですが、困難を乗り越える時にはいつも支えてくれる人の存在があり、たくさんの人の温かさと人との縁の大切さに触れることのできた時間になったと思います。東南大学に留学することができ、本当に良かったです！